

農業委員会だより



# よさの

第40号 R3.9発行

編集発行

与謝野町農業委員会  
広報編集委員会

与謝郡与謝野町字加悦433番地  
(加悦庁舎2階)

TEL:0772-43-9023(直通)



畑を彩る季節の花々

温江の畑に咲く秋桜



彼岸花(香河地区)

## 【目次】

小麦の収穫にチャレンジ .....	2
第7期与謝野町農業委員会が新体制でスタート.....	2・3
国連食料システムサミット2021へのコミットメント...	4
ホップ手摘み収穫体験 .....	4
京都府立農業大学校学生募集 .....	4
編集後記 .....	4

## 小麦の収穫にチャレンジ!!

「お米以外の栽培にも力を入れていきたい」との思いから、小麦の栽培に取り組むことを決断された株式会社AGRIST。今回は、同社代表取締役の太田桂史さんから「小麦の収穫をするので、ぜひ様子を見にきてください」との連絡をいただき、取材にお伺いしました。

「丹後の気候は、田が乾きにくく、小麦の栽培に適した圃場もないため、とても難しいです」と太田さん。小麦の作期は10月



収穫作業のようす



一面に広がる小麦

頃に播種が行われ、翌年6月頃に収穫の時期を迎えます。

太田さんは、「今年は収穫の時期に晴れの日が続いたため、順調に作業ができましたが、来年以降は分かりません。小麦の栽培はまだまだ分からないことが多くありますが、今後もチャレンジしていきたいと思っています。」と語ってくれました。

## 第7期農業委員会が新体制でスタート

第193回与謝野町農業委員会総会が令和3年8月2日、与謝野町役場加悦庁舎元気館で開催されました。

農業委員会では、農地法に基づく売買・貸借の許可や農地転用の案件への意見送付、遊休農地の調査・指導等を行っています。総会では、与謝野町となって第7期となる委員の任命交付が行われ、会長に山崎信之氏、同職務代理者に太田豊氏がそれぞれ再選され、新たなスタートをきりました。

新しい委員の構成は、農業委員14名と農地利用最適化推進委員11名の25名で、任期は令和3年8月1日から令和6年7月31日までです。



任命交付のようす



# ～ 新しい農業委員・ 農地利用最適化推進委員のご紹介 ～



宮本 浩司 委員  
(温江)



木村 有紀子 委員  
(温江)



細井 昭 委員  
(後野)



小田 則子 委員  
(滝)



番 晃 委員  
(香河)



森垣 幸一郎 委員  
(金屋)



戸田 准也 委員  
(三河内)



大原 貞一 委員  
(男山)



山崎 康則 委員  
(下山田)



大内 裕揮 委員  
(岩屋)



細井 保伸 委員  
(加悦奥)



河邊 悟 委員  
(石川川上・上地)



太田 豊 会長職務代理  
(石川大宮・中地)



山崎 信之 会長  
(下山田)



伊達 真二 委員  
(石川下地・堂谷)



間苧谷 義人 委員  
(岩滝)



野口 道男 委員  
(算所)



小長谷 秀彌 委員  
(上山田)



成毛 義信 委員  
(幾地・四辻)



大江 直己 委員  
(加悦)



渋谷 周一 委員  
(明石)



小田 全記 委員  
(滝)



谷原 光昭 委員  
(与謝)



廣野 仁志 委員  
(石田・弓木)



水口 俊彦 委員  
(石川亀山)



会長あいさし

与謝野町農業委員会  
会長 山崎 信之

平成28年の「農業委員会等に関する法律」の改正から2度目の改選が行われ、委員の推薦により、会長に再任することとなりました。農業委員14名と、農地利用最適化推進委員11名で与謝野町農業委員会がスタートします。

従来からの農地審査等法令必須業務に加え、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を目指す農地利用の最適化も必須業務となり、これまで以上に農業委員会の役割が幅広くなりました。

与謝野町でも農業者の高齢化、有害鳥獣被害などの理由で耕作放棄地が増加する傾向にあります。一方では新規就農を目指す若い人たちも増えてきています。

与謝野町の優良農地を適正に守るため、本町農業者の期待に添えますよう、委員全員で取り組んでいきたいと考えていますので、町民の皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

# 「国連食料システムサミット 2021」へ コミットメントを提出

与謝野町は、9月にニューヨークで開催される「国連食料システムサミット2021」の趣旨に賛同し、コミットメントを提出しました。コミットメントの具体的な内容は、『化学肥料削減のため、2030年度までに与謝野町の水稲作付農家における「京の豆っこ米」の栽培割合を30%まで拡大』、『「京の豆っこ米認定証制度」を実施すること』としています。今後も、持続可能な食料システム、特に「環境に調和した農業の推進」の実現に貢献するため、与謝野町の自然循環農業推進により、化学肥料使用の削減に取り組んでいきます。



United Nations



Food Systems Summit 2021

※「国連食料システムサミット」とは

国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成のためには持続可能な食料システムへの転換が必要不可欠だという、グテーレス国連事務総長の考えに基づき開催される国連主催のサミット。



## ホップ手摘み収穫体験

7月22日、あっぷるふぁーむの圃場でホップの手摘み収穫体験が開催されました。与謝野ホップの魅力を感じてもらおうと開催されたもので、親子連れなど約30人が参加。4～5mほどの高さの実ったホップは、参加者により一粒ずつ丁寧に摘みとられ、圃場ではホップ独特の香りを嗅ぎながら作業を楽しんでいる姿や子どもたちの元気な笑顔が見られました。



## 〈京都府立農業大学校 令和4年度学生募集〉

京都府立農業大学校では、豊かな自然に囲まれた環境の中で、農業の担い手、農業後継者を養成しています。農業に従事する意欲ある学生を募集しています。

### 【願書受付期間及び試験日】

推薦 受付	令和3年9月17日(金)から9月30日(木)	試験	令和3年10月29日(金)
前期 受付	令和3年11月29日(月)から12月13日(月)	試験	令和4年1月11日(火)
後期 受付	令和4年1月21日(金)から2月2日(水)	試験	令和4年2月18日(金)

\*詳しいことは京都府立農業大学校までお問合せください。☎0773-48-0321

### 編集後記

今年、例年よりも1ヵ月程はやい5月中旬からの梅雨入りとなりました。また、お盆に雨の日が続くという状況は、私の記憶にはないように思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大もなかなか収まる様子もないですが、一日も早い収束を願う毎日です。

この時期の私の生活は、毎朝4時半から現場に出向き、午前中になすの収穫から出荷までの作業。午後からは稲刈りや秋から冬に向けてのキャベツや白菜の栽培準備と忙しい日々を送っています。

8月から広報編集委員会の顔ぶれも変わり、新たなスタートをきることとなりました。

今後ともよろしく願います。

(大内裕揮 委員長)



### 広報編集委員

大内 裕揮 委員長  
小田 則子 副委員長  
成毛 義信 委員  
森垣幸一郎 委員  
大原 貞一 委員  
木村有紀子 委員